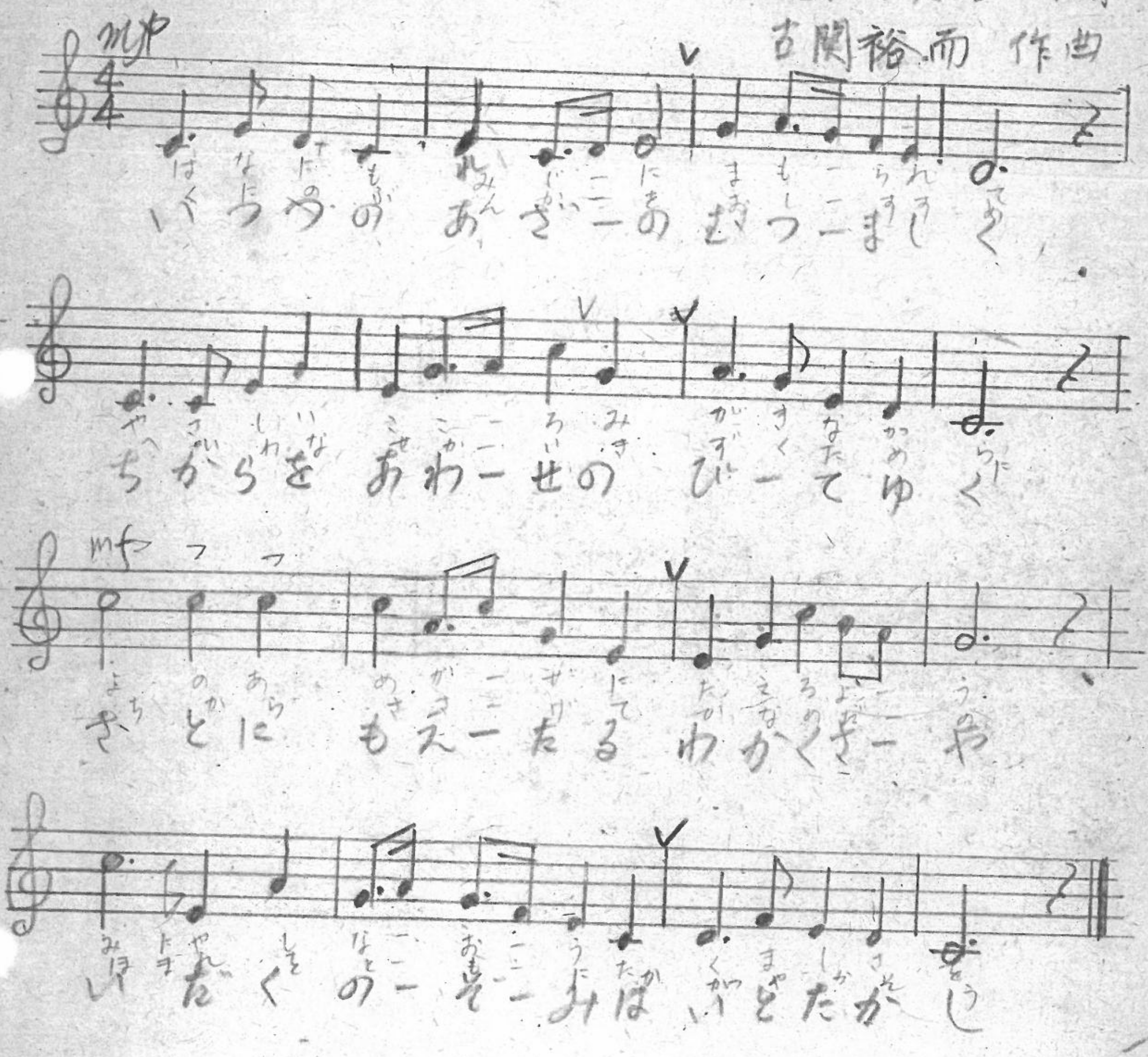
要田小学校々歌

遠藤喜美治 作詞
古関裕而 作曲


mp
はなにもみじーにまもーられて
くにのぶんかーを おしーすすめ
いつつの あざーの むつーまじく
やさしいこころみがきながら
へいわなせかいきずくために
ちからを あわーせの びーてゆく
mf
よのあめかぜにたえるよう
ちからささげてかなめだの
さとに もえーたる わかくさー や
みにやしなおうたくましきを
ほまれをともにかがやかそう
いだくのーぞーみは い とたかし

五つのあざのむつまじく
力を協せ伸びて行く
郷に萌えたる若草や
抱くのぞみはいと高し

世過（よす）ぎの業も助けつつ
学びの道にいそしみて
まこと一途（ひとすじ）要田の
ほまれ示さん世に高く

花にもみじに
優しい心
古の雨風に
身に養おう
国の文化を
平和な世界
力ささげて
ほまれをともに

守られて
磨きながら
たえるよう
たくましきを
おし進め
築くために
要田の
輝かそう

七・五
七・六
七・五
七・六
七・五
七・六
七・五
七・六